



眼抗加齢医学研究会

去る11月3日(月・祝)、東京ステーションコンファレンスにて、第3回眼抗加齢医学研究会講習会を開催いたしました。予想を超えるたくさんの方にご参加をいただき、また、展示ブースでは7社の企業様にご協力いただき、とても活気のある講習会となりました。

今年は、フードファクターと眼疾患についての基礎研究、加齢性眼疾患のレビューと実践に加え、「講習会から帰ってすぐに使える内容」を盛り込み、この講習会翌日の外来ですぐに活用できる知識を学べるようなプログラムを企画いたしました。



✓ フードファクター

現在眼科領域で注目されているフードファクターとして、アスタキサンチン、アントシアニン、レスベラトロールについて、基礎研究をされている演者の先生から、研究結果を講演いただき、そのエビデンスをご紹介いただきました。講習会のアンケート結果でも、サプリメントに関する講演がききたいとご要望が多数あり、引き続き、本研究会ではフードファクターについてのセッションを企画していきたいと考えています。

✓ 教育講演 今日から始めるアンチエイジング生活 ～カロリスのすすめ～

今注目されている「カロリス」について、坪田一男先生にご講演いただきました。最新の研究報告から、坪田先生ご自身が実践されているカロリス生活の詳細まで、お話しいただきました。参加者からは、他科領域の話も聞いてみたいとご要望もあり、医師がサイエンスをもとに実践するカロリスの講演は、眼科領域を超えた「アンチエイジングの実践例」として注目を集めていました。

✓ 加齢性眼疾患のアンチエイジングアプローチ

緑内障、ロービジョンケア、光暴露と酸化ストレスについて、それぞれの分野でご活躍の先生から「加齢」というキーワードでご講演いただきました。正常眼圧緑内障の考え方も含めて緑内障が加齢疾患であることを再確認し、また、ロービジョンケアではその具体例を、光暴露による加齢のメカニズムなど、非常に充実した講義にご参加の先生方も熱心に聞き入っておられたようです。

✓ 新しい治療方法

「眼精疲労へのアプローチ」として、中村友昭先生にトライリスを用いた診療をご紹介いただきました。なかなか改善しない疲れ目の症例に対する新しいアプローチを、症例をもとにわかりやすくお話しいただきました。

また、アンチエイジングクリニックで診療をされている澤登雅一先生に、白内障治療薬「チオラ」を使った有害重金属排出についてのご講演をいただきました。40年という歴史をもった眼科では親しみのある治療薬の新たな可能性は非常にホットな話題となりました。

✓ 見直された温療法のエビデンス

「クリニックに帰ってすぐ使える」治療例として、サイエンスとして見直されつつある「温療法」のセッションを開催しました。眼、眼瞼を温める「アイウォーマー」、「アイホット」、「オルガヘキサ」、「アイスチーマー」について、各ご専門の先生からご発表いただきました。講習会終了後も、温療法の保険点数についてお問い合わせがあるほど、反響のあるセッションでもありました。

✓ 老眼のアップデート

～定義・診断基準から最新治療のレビュー～

今までの老眼(老視)治療のレビュー、最近ホットなトピックスをはじめ、現在、老眼研究会で議論をされている老眼(老視)の定義・診断基準について、研究会事務局長の井手武先生からご講演いただきました。講演時には、飛び込みでJim Socks氏に最新の老眼治療として注目されているAcuFocusをご紹介いただきました。

本講習会では、講演だけではなく、賛助会員を中心に、企業展示も充実していました。眼に対してのサプリメントの試供、有害重金属測定など、参加者の皆様は熱心にブースをご覧になっていました。

最後に、本講習会を開催するにあたり、ご参加ご協力くださいました参加者の皆様、素晴らしいご講演をしてくださりました講師の先生方、サポートいただきました協賛企業、展示企業の皆様にご挨拶を申し上げます。

お問い合わせ

眼抗加齢医学研究会 事務局 〒107-0062 東京都港区南青山4-1-12-203

Tel:03-5775-2075 Fax:03-5775-2076 E-mail:eye@anti-aging.gr.jp http://www.anti-aging-eye.jp/